

# 【事業概要】 ソーシャルイノベーション・アクセラレートプログラム

## 教育システム改革

- ◆クォーター制の実質化（実装の拡大・効果創出）
  - ・能動的学習の機会拡大（学生側）
  - ・教育・研究力の強化促進（教員側）
- ◆教育効果検証におけるIRの活用促進
  - ・学びの自己構築サイクルの加速化、学際教育効果の可視化

## 全学波及・学外波及

- ◆質保証システム
  - ・インテシブ教育の効果検証の方法や教学に関するデータ分析体制
- ◆高度な学際教育モデル
  - ・課題解決型授業への「高度化移行」、専門分野特化授業への「学際化導入」
  - ・学際ルーブリック、メンター制度 等



## インテシブ教育

メリハリある時間割設計

早期・集中型のカリキュラム

学生-教員：コミュニケーション促進  
学生-社会：社会連携活動の活性化

自己点検  
「学際ルーブリック」  
学びの自己構築  
サイクル

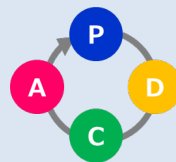
eポートフォリオ

セーフティーネット・  
メンタリングチーム

実証分析

大学総合研究センター

- ・教育効果の調査・分析
- ・学際教育ルーブリックの実践
- ・FD・SD研修 等



コミュニティ・社会開発

グローバル 이슈の解決

平和構築・国際協力

SDGs

イシュー×ディシプリンによる  
新たな知「学際研究の方法」

学問の基礎「ミニマム・ディシプリン」

全学基盤教育・データサイエンス教育

インテシブ教育の導入  
(アクセラレート)

Cross-Disciplinary Approach

教養→問題解決までやる高度な学際教育

育成する  
人材像

高度な知を集約しグローバル 이슈に  
取組み社会変革を共創する

ソーシャルイノベーター



答えのない問題に挑戦する 多様性を理解する  
「たくましい知性」「しなやかな感性」

Waseda Vision 150

導入の効果

学生側



能動的学習  
の機会拡大



- ・留学、サマースクール

- ・NPO
- ・スタートアップ
- ・共同研究

- ・インターンシップ
- ・ボランティア
- ・フィールドワーク

教員側



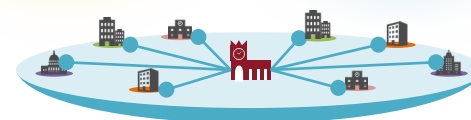
教育・研究力  
の強化促進



- ・FD（教授法習得）
- ・学生への密な指導

- ・社会貢献活動

- ・研究時間増加
- ・国際共同研究拡大
- ・オープンイノベーション



社会科学部  
学際教育アプローチ

Inter-Disciplinary Trans-Disciplinary



「答えのない問題に、自分なりの解決策を考え出せる知性」「多様性」を有する人材の育成が急務！

Society5.0に向けた  
知識集約型社会における  
大学の役割の変化

教育（知識の獲得）  
研究（知識の創造）



知識の獲得  
知識の創造 + 知識の共有  
社会変革の共創



# 【取り組み内容】 ソーシャルイノベーション・アクセラレートプログラムが実現すること

## 【人材育成】

- 社会科学部へのインテンシブ教育先行導入による能動的学習機会の創出・拡大
- 教養→問題解決まで実践する高度なイシューベースの「学際教育」の実現
- 自分の学びをデザインする、学びのエコシステムの創出



高度な知を集約しグローバルイシューに取り組み社会変革を共創する  
**ソーシャルイノベーターの輩出**

## 【教学マネジメント改革】

- インテンシブ教育の教育成果・学修成果の効果検証・評価サイクルの導入
- 学際教育ルーブリックの開発・モデル化
- 全学、他大学へのインテンシブ教育モデルの普及



早稲田大学の強みである国際性、感知力、普及力による  
**全学波及、他大学波及の実現**